

Change the Horizon!
Joining the World

4 WEEK **BCP**

Business Communication Programs 1991

Active, Awareness and Action

Balanced Skills, Behavior and Business
Communication: Language, Way of Thinking

Cross-Cultural Experience

April 1991—March 1992

Comfort and **Confidence**

Total Immersion Residential Programs

Improve Speaking and Listening Skills
Develop Cross-Cultural Awareness
Learn How to be a Good Learner
and Total Human Development
through *English*

ENGLISH ONLY

LIOJ

THE LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

4
WEEK

BCP

Business Communication Programs

世界に融合できる国際派ビジネスマンのために

企業人向け合宿制語学研修のパイオニアとしてのLIOJが、昭和43年より開設しているこの講座は、国際ビジネス社会で活躍する企業人にとって不可欠な、効果的な英語によるコミュニケーション能力の向上を図ると共に、激動する国際社会を生き抜くための「対応力」「許容力」を養い、国籍を越えた真のヒューマンリレーションを確立できる「人づくり」を目的とした国際派企業人のための総合合宿研修です。

Total Immersion Residential Programs

短期間で語学力の飛躍的向上を図ることは容易ではありません。しかしながら実践的な集中教育により、既に身につけた英語力とビジネススキルとを融合し効果的に実用化を図ることは可能です。同時に多くの外国人との交流(Interactions)を通して、文化、考え方、姿勢、習慣の相違性と類似性を学び、認識を高めることも重要です。このためLIOJでは、これら総合的コミュニケーション能力と資質の向上に最も理想的とされる英語オンリーの合宿制生活学習環境(Total Immersion)方式をいち早く導入。22名の専任外国人教師を抱え、4週間の集中授業、課外活動や生活など様々な状況下での交流を最大限可能にしております。最高の学習環境とカリキュラム、優秀な教師、高いモチベーションを持った受講者など、より良い教育のための必要条件の整ったLIOJならではのプログラムです。

LIOJ FACULTY



Don W. Maybin
Director, 1991年4月就任

The Language Institute of Japan was the first institution to provide an intensive residential program in this country for improving communication skills for business professionals. Over the years, our reputation has grown and we are used as a standard for other schools with similar programs.

At LIOJ, we constantly seek new ways to better prepare our clients for the situations they will encounter in the future by balancing sound, yet innovative classroom practice with extensive informal contact hours. Our staff and visiting scholars from a variety of countries provide a truly international, supportive atmosphere to ensure that learners get the most for their efforts.

LIOJ - the first and still the best.



LIOJ
企業人コース
専任外国人講師

LIOJの自慢のひとつは「人」です。創設以来毎年校長が北米を中心に、欧州、アジアの各地で直接面接を行い、全員フルタイム教師として招聘しております。年間500名に及ぶ応募者から厳選された教師は、英語を第二外国語として教える学位T.E.S.L.(Teaching English as a Second Language)を修得した経験豊富なエキスパートを中心に人格、能力ともに優れた人材を様々な分野、国々から招聘しております。LIOJの高い教育水準は教師自らの類まれな研究心・探究心とイノベティブな環境によるもので、効果的教授法や教材の研究開発などその実績は日本はもとより海外でも高い評価を頂いております。

BCP Features

Goals 習得と実践により、英語によるリスニング・スピーキング能力とビジネスコミュニケーションスキルの効果的向上を図ります。体験を通して異文化対応力、実行力を養い、自らの長所・短所、得手・不得手を把握し継続学習のポイントと方法を習得するとともに確固たる自信を身につけたグローバルコミュニケーターの養成を目的としています。

4週間合宿集中研修 —English-Only—Think and Act in English
26泊27日。職場から離れ、英語オンリーの集中研修は、より高い効果が期待できます。集中授業は月曜から金曜日。4週間の合宿集中研修は、同時間数の一般研修に比べてより効果的ですが、全ての方に有効とは限りません。受講者のレベルの把握と目標、現実的研修効果の認識、継続的な企業内教育との組み合わせ、短期間集中研修の必要性など、目的と状況に応じた研修の選択が重要、不可欠です。

32名定員の公開講座 1社1名から参加いただける公開講座です。ほとんどの受講者は企業からの派遣で、様々な分野の第一線で活躍しているビジネスマン(女性参加者も含む)ですので、それぞれが高い目的意識とモチベーションを有しています。企業人にとっての異業種、異職種の方々との交流、人材開発の場としても有益です。

能力別4クラス編成 受講者は第1週目前半に実施される、文法テスト、聴解力テストI&II、口頭面接、個別カンファレンスとともに、能力別に4つのクラスに分かれます。1クラス6-8名で、各クラスには、1チーム3名の専任担当教師がおり、BES、MICRO、MACROの1日3部制のクラスそれぞれを4週間継続指導します。

受講対象者:TOEIC350~730点 既に身につけた英語力の有効活用と英語オンリーの研修のため、受講対象者はTOEIC350~730点、または同等のレベルの方々におすすめのコースです。海外赴任や海外研修を直前に控えた方、海外出張や国内業務で常に英語を必要としている方、技術提携や移管に携わる方、転職の際、英語力が必要とされる方などに最適です。今までの学習方法に疑問のある方、継続学習が困難な方にもお勧めいたします。

年11回開講 年11回開講しておりますので、急に海外赴任が決まった場合や、派遣時期や仕事のスケジュールに応じてご受講いただけます。

1991年度 開講日程 (1991年4月~1992年3月)

第224期	4月15日~5月11日	第230期	10月28日~11月23日
第225期	5月13日~6月8日	第231期	11月25日~12月21日
第226期	6月10日~7月6日	第232期	1月6日~2月1日
第227期	7月15日~8月10日	第233期	2月3日~2月29日
第228期	9月2日~9月28日	第234期	3月2日~3月28日
第229期	9月30日~10月26日		

DAILY SCHEDULE

7:50 - 8:30	Breakfast
8:30 - 12:10	BUSINESS ENGLISH SKILLS CLASS
12:10 - 1:10	Lunch with instructors
1:10 - 4:00	MICRO CLASS
4:00 - 4:30	Break
4:30 - 6:00	MACRO CLASS
6:00 - 7:00	Dinner with instructors
7:00 - 8:00	MACRO CLASS/Thursday Special Lectures
8:00 - 10:00	Evening Programs/free time, self-study time

CURRICULUM

Total Immersionプログラムにおいては授業と生活の両方が同等に重要視されます。集中授業による効果的な訓練と合宿生活における十分な実践の場がバランスよく設定されております。リラックスした雰囲気の中、自主性と積極性、課題発見能力と実行力が要求されるカリキュラムは、多くの受講者にとって新鮮な驚きとやる気を喚起します。ここでは生活はもとより習うことも異文化体験のシミュレーションです。

CLASSROOM ACTIVITIES

- ◆PRESENTATIONS◆BUSINESS MEETINGS◆SIMULATIONS◆
- ◆DEBATES◆DISCUSSIONS◆TELEPHONES◆NEGOTIATIONS◆

Explaining ● Paraphrasing ● Controlling ● Presenting ● Discussing ● Debating
Problem-Solving ● Negotiating ● Informing ● Inquiring

1日9時間、4週間に及ぶ合宿プログラムの集中授業では、常に受講者が主体性をもち、自らの考えや意見を述べる機会が多く与えられます。また受講者の興味と学習意欲を常に高めるため、3つの「習得と実践化」を目的としたクラスが体系的に構成されています。Notion(概念)/Function(機能)の両面から言葉を捕えると共に、MICRO、MACRO、B.E.S.の3つのクラスは、1チーム3名の専任教師により、異なるアプローチ、様々な教授法、教材、題材を駆使したバラエティーに富んだものです。企業人コースは13名が専任担当し、教師間では密な連携・情報・意見交換が行なわれ、受講者の長所・短所やニーズに則した最適かつきめこまやかな指導を可能にしています。このように効果的かつユニークな組み合わせは高い相乗効果を生み、LIOJの合宿コースを他に類を見ない独特なものとしています。

BES CLASS (BUSINESS ENGLISH SKILLS)

MICRO、MACRO、Notions/Functionsの各要素をビジネスコンセプトに焦点を充てたプレゼンテーション・会議シミュレーション・ロールプレイ・電話訓練や数量やグラフに関する訓練を通して、実践的ビジネスで有用なスキルの向上を図るクラスです。また個々の職務やプロジェクトに関する題材を取り上げ、表現方法、論旨、論法、要約、質疑応答などプレゼンテーションを通して習得します。尚、発表は全てビデオ収録されフィードバックがされます。



MICRO CLASS (SYNTHETIC)

言葉の持つ様々なNotions/Functionsをセンテンスレベルで取り上げ、文法、Fluency、発音、聴解力に焦点を当て、明解な表現、正確な意志伝達に関わる基礎力向上を目的としています。従って授業では、頻繁な誤りの訂正、細部にわたっての厳しい指導がなされます。また丁寧語や形式的な語句など、あらゆるビジネス場面で円滑なコミュニケーションを行なうための効果的表現とその使い方にも焦点をあてます。

MACRO CLASS (ANALYTIC)

細部に気をとられるあまり、全体の流れと内容の理解が不得手という、日本人が陥りやすい欠点を打破し、パラグラフレベルでの会話力・理解力の開発と向上に重点が置かれます。このため文法などの細かな指導は避け、ロジック、論旨の捕え方、端的な主旨の表現方法、論理的展開の把握・要約など、実際に則した複雑な状況下で「実用化」を図り、問題解決能力の向上と柔軟な対応力、理解力を養います。



RESIDENTIAL ACTIVITIES

*Cross-Cultural Experience
through Constant Contact and Interaction*

授業ではFacilitatorである教師がここではよきパートナーとなります。授業以外の様々な機会での教師との交流(Interactions)は、視野を広げ、豊かな経験を育むと共に、異文化理解、相互理解促進の絶好の場となります。英語オンリーのもと、より自発的で積極的な行動が必然的に要求される状況下で、英語社会で生きる上で不可欠な「独立心・行動力」を養い、自信を身につけます。またLIOJでは各回、奨学参加者としてアジア諸国からビジネスマンや英語教師を招聘しております。32名の受講者、22名の外国人教師と海外参加者が、英語を共通語とした国際色豊かなコミュニティを形成します。

Meals with Instructors

合宿生活の中で特に大きなウエイトを占めるのが、教師を開いての毎日の食事時間です。English-Onlyの食堂では、クラスを離れた自由な会話環境がアレンジされますので、日本人が最も不得手とするインフォーマルかつ自ら会話を進めなければならない状況での会話能力の向上に最適です。



Special Programs

授業以外にも大小のグループに分かれての課外活動が企画されています。

● **Thursday Night Special Lectures** 毎週木曜日、7:00-8:00p.m.には、LIOJ教師、海外参加者や外部からの講師により、外国人の目を通しての異文化理解論、国際関係論や経済に関する特別講演があります。

● **Cocktail Party** 第2週の木曜日に全教師が参加して行なわれるカクテルパーティー(セミフォーマル)は、ひとつの異文化体験です。自己紹介の仕方、マナー、会話への参加の仕方、進め方など、会話をエンジョイしながらの実践の場を提供します。

● **Saturday Morning Programs** 土曜日の午前中に行なわれるプログラムで、第1週はスポーツやハイキング、第3週はクラス単位のビデオプロジェクトの企画、製作があります(フェアウェルパーティーで発表)。それ以外の週末は自由行動となります。

Other Programs and Activities

このほかにも下記のような様々な課外活動が企画されています。

- ◎ Welcome Party ◎ Open House ◎ Magic Show ◎ Games Night
- ◎ Individual Conferences and Feedback Sessions ◎ Journals ◎ Outings
- ◎ How to Study After LIOJ ◎ Farewell Dinner and Party, and more!

自由時間には教室、ラウンジなどLIOJ専用施設が受講者に開放されています。予習、復習、リフレッシュの時間とするなど各自自由に過ごせます。教師を誘ってのラウンジや屋上でのピヤーパーティー、ダウンタウンでの英語カラオケ、週末の箱根、鎌倉へのアウトティングなど、受講者には自発的な活動が期待されます。ふと気が付くと群衆の中で「平気で英語で話している自分」をみいだすのもこんな時かも知れません。



Final Evaluation Report

コース修了時には、受講者各自の4週間の実績に基づき、各クラス担当教師(1クラス/3名)により評価が行なわれ、総合評価表(5ページ)として企業に送付されます。教師所見はもとより、英語力、国際ビジネス社会での業務遂行能力、異文化対応力や研修受講姿勢など、実践的コミュニケーション能力と問題解決能力を総合的に評価するものです。また各受講者にはBES、マクロクラスで行なったプレゼンテーションの収録ビデオが渡されます。



教師間における定例研究会



修了証書授与

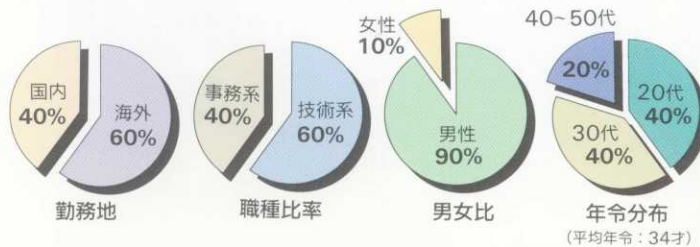
Participating Firms

昭和43年開講以来、既に通算で220期以上を開講、全国628の企業、団体から5500名に及ぶビジネスマンの方々にご受講いただいております。

主な受講会社

アイカ工業、浅沼組、旭化成工業、アドバンテスト、ICIジャパン、アスモ、安藤建設、アンリツ、市光工業、植木組、A.T.カーニー、大林組、大阪セメント、オムロン、オリンパス光学、海外電力調査会、カイトック、カーギルノースエイジア、加藤発条、鐘紡、川崎製鐵、関西ペイント、監査法人トーマツ、キッコーマン、キャタピラーエイチアイマーケティング、旭洋、キャノン、近畿リース、倉敷紡績、KDD、興亜石油、コスモバイオ、ゴータックス、コニカ、小松製作所、小松ゼノア、桜測器、J.ウォルタートンプソン、J.P.モルガン証券、清水建設、ジョンソンエンドジョンソン、シーベル機械、新電元工業、住友生命、住友金属鉱山、生化学工業、ゼクセル、ゼネラル石油、ソニー、第一証券、第一生命、ダイセル化学工業、ダウ化工、ダウケミカル日本、高島屋日発、蝶理、テルモ、デルタ工業、東急不動産、東京電気、東ソー、トビー工業、東邦レーヨン、東洋エンジニアリング、東レ・デュボン、トクセン工業、豊田自動織機製作所、トヨタ自動車、ニコンテック、日清紡、新田セラチン、日本アップジョン、日本海事検定協会、日本紙パルプ商事、日本化薬、日本金属工業、日本軽金属、日本ケッチェン、日本生命、日本チバガイギー、日本DEC、日本テトラパック、日本電装、日本ビクター、日本フィリップス、日本フェロー、日本無線、日本リーバBV、日本コダック、バイオニア、バイエルジャパン、バイエル薬品、日立製作所、日立電器、日立物産、P&Gファーイースト、ビップフジモト、フィリップモリス、藤沢薬品工業、富士電機、プリストルマイヤーズ スクイブ、プリチストンヘキストジャパン、本州製紙、ポリプラスチックス、松本油脂製薬、マツダ、マップチモーター、三菱アルミニウム、三菱自動車、三菱ビルテクノサービス、メルリンチ証券、モルガン銀行、山一証券経済研究所、ヤマハ、ヤマハ発動機、湯浅電池、郵便サービス社、ユニオンカーバイド、リコー、リーバストラウスジャパン他
(あいうえお順)

*海外教育事業交流の一環として、チュラロンコン大学、タイ工商会議所大学、タマサート大学、アジアの企業などから特別奨学参加者を招聘しております。



「英語」というメディアを通して、自らの可能性の高揚を図り、相互理解を深めることで、ますます複雑化する国際社会において、国籍を越えた真のヒューマンリレーションの確立に貢献できる「人づくり」を目的とした教育研修機関として、財団法人MRAハウスの公益事業の一部門として昭和43年3月に設立されました。

コミュニケーションスキル向上にとってもっとも理想とされる英語オンリーの全寮制生活学習環境(TOTAL IMMERSION)を日本で初めて本格的に採用。発足以来、一貫して合宿制研修のスペシャリストとして、常に新しいアイデアと可能性への挑戦を実践するユニークなカリキュラムと質の高い教育は、23年間にわたり高い評価をいただいております。

また新しい教授法、教材の開発、在日外国人教師のための「TEFL会議」の開催、日本の語学教育、企業内教育の発展、向上と国際交流に寄与しております。

LIOJ Programs in 1991

◆企業人合宿コース

◎2週間合宿(BCS)：年2回開講(第5期・第6期)

◎4週間合宿(BCP)：年11回開講(第224期～第234期)

◆第23回英語教育者のためのサマーワークショップ1991

◆小田原コミュニティプログラム

◆小田原市立中学校における国際理解クラス

◆海外教育事業交流プログラム

◎1977年より実施している教育交流プログラムで、韓国、タイ国、フィリピン、ホンコンなど近隣アジア諸国から企業人コース、サマーワークショップ等にビジネスマン、英語教師や学生を奨学参加者として招聘しております。本年度は20名の招聘を予定しています。

◎JALT、TESOL、IATEFL、Thai TESOLなど国内、海外の語学教育学会へ積極的に参加すると共に、多くの教育機関との交流を推進しております。

2
WEEK

BCS

Business Communication Skills

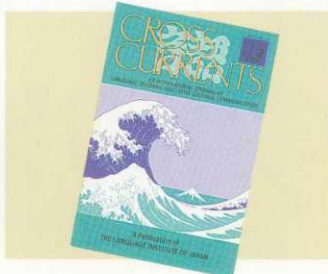
語学教育からビジネスコミュニケーションスキル向上のための2週間短期講座です。中級・上級者を対象とし、Presentations、Functional English、Simulationsの3つのクラスを通して「使う英語」のスキルアップを図ります。4週間の研修期間確保が困難な方、海外駐在経験者ではあるが実践面でのブラッシュアップが必要な方、またテストスコアは高いけれど実用面での経験が欠けている方などに最適なコースです。

受講対象者：TOEIC 500～730点

年2回開講：第4期 6月10日～6月21日、第5期 6月24日～7月5日

CROSS CURRENTS

AN INTERNATIONAL JOURNAL OF LANGUAGE TEACHING AND CROSS-CULTURAL COMMUNICATION
クロスカレントスは、LIOJの教師によって1972年より編集・発行(年2回)されている英文の語学教育研究誌で、ESL/EFLにおける指導法や学習法、日本における語学教育やティームティーチング、さらに異文化間コミュニケーションなどにかかわる実践的かつ有効的な論文を掲載しています。加えて語学教育の問題点を探るForum、Bright IdeasやBook Reviewsなど英語教育者の興味をひく題材を取り上げています。現在国内はもとより20ヶ国以上の教育機関、教育者に愛読され好評をいただいております。



Facilities and Location

ASIA CENTER

LIOJは小田原駅に近い閑静な高台にあるアジアセンター(当財団の施設)に常設されています。アジアセンターは、地上5階、地下2階の建物で、箱根連山を背に相模湾に面し、大島、伊豆・三浦半島を一望におさめる景勝の地にあります。企業の教育研修場・国際会議場として研修の方々のみ受け入れておりますので落ち着いて研修に専念でき、交通も至便であることから多くの方々にご利用いただいております。200名の宿泊食事施設、さまざまな研修規模に対応できる大小17の会議室、各種教育機器、喫茶コーナー・各種販売機ほか、コインランドリーなど充実した設備を備えております。

研修会場ご利用のお問い合わせは：アジアセンター ☎0465-22-6131まで



LIOJ Facilities

館内にはLIOJ専用施設として、教室(10室)、LL教室、宿泊室(ツインルーム)、食堂、ラウンジがあります。ラウンジには、VTR、二ヶ国語放送、衛星放送受信機器ほか、ビデオ映画、英字新聞、外国雑誌・図書、ステレオ/レコードなど、充実した研修と快適な生活のための設備が整っております。

- ◆交通の便：小田原駅下車(JR東海道・新幹線・小田急線)駅からタクシーで5分。
 - 新宿駅から小田急ロマンスカーで——70分
 - 東京駅から新幹線で「こだま」——40分
 - 新大阪駅から新幹線「こだま」——3時間30分



LIOJ LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

〒250 神奈川県小田原市城山4-14-1 アジアセンター2F

TEL.0465-23-1677 FAX.0465-23-1688